令和7年度学校運営協議会（第1回）議事録

校長	府立泉北高等支援学校
校長名	阪本 友輝

開催日時	令和7年7月3日（木）13:30~15:00
開催場所	大阪府立泉北高等支援学校 応接室
出席者（委員）	中島 康明（会長） 前田 光一（副会長） 魚住 敦子（委員） 大西 一央（委員） 徳 和則（委員） *樋上 一真委員は欠席。協議事項については事前に意見集約済み。
出席者（学校）	阪本 友輝（校長）米田 拓朗（教頭）宮園 奈穂美（事務長）前田 映三子（首席）篠原 祐（部主事） 上野 浩嗣（教務主任）木村 晋也（進路指導部副主事） *緒方 美香（研究支援部長・指導教諭）は授業のため欠席
傍聴者	なし
協議資料	委員会名簿 次第 学校運営協議会実施要項 令和7年度使用教科用図書と図書見本 泉北レモンプロジェクトについて（資料、スライド） 泉北レモンの街ストーリーパンフレット 令和7年度学校経営計画及び学校評価
備考	

議題等
<ol style="list-style-type: none"> (1) 諸連絡（配付物の確認、次第の確認、傍聴者の確認、意見箱について） (2) 学校長挨拶 (3) 学校運営協議会実施要項について (4) 運営協議委員会長・副会長選出について (5) 学校運営協議会会長挨拶 (6) 令和7年度採択教科書について (7) 泉北レモンプロジェクトについて (8) 令和7年度学校経営計画について (9) 質疑応答・意見交換 (10) 会長まとめ (11) 今後の学校運営協議会予定について
協議内容・承認事項（説明・意見の概要）
<ol style="list-style-type: none"> (1) 諸連絡 <ul style="list-style-type: none"> ・配付物の確認 ※協議資料参考 ・次第の確認

- ・傍聴者の確認→傍聴者なし
- ・意見箱について→投書なし

(2) 学校長挨拶

(3) 学校運営協議会実施要項について→承認いただく

(4) 運営協議委員会長・副会長選出について→承認いただく

(5) 学校運営協議会会長挨拶

(6) 令和7年度採択教科書について

- ・資料リストの順に実際に教科書を提示しながら説明を行う。1年生社会自立コースにて理科の教科書を新たに採用したことを説明。

(7) 泉北レモンプロジェクトについて

- ・学校経営推進費事業に採用されたことを報告。スライドで提示しながら、「学びのエンゲージメント」、泉北レモンの取組みについて説明。「古くなった遊具を撤去する」「調理室を喫茶室に改装する」など具体的に推進していく内容を説明。
- ・「総合」の授業で出前授業として取り組んだり、LCの授業で仕事として取り組んだりしながら、生徒が社会とつながり、深い学びを得ることを目標に活動していることを伝え、今後の見通し、展望について説明。

(8) 令和7年度学校経営計画について

- ・資料「令和7年度学校経営計画及び学校評価」を基に学校長より説明。学校経営推進費事業「泉北レモンプロジェクト」に関連する部分についても説明。今年度重点的に学校全体で取り組む内容について確認。

(9) 質疑応答・意見交換

教科書の採択について

- ・知的障がいの生徒向けに作られた文科省が推薦している教科書を使用しているのか
→文科省指定のものは小中学校で使用していることが多く採択が難しく、一般教科書から選定しているものもある。「ひとりだち」シリーズは知的障がいの生徒用に作られた教科書なので採用している。

泉北レモンプロジェクトおよび地域連携について

- ・レモンは育てやすいか→この地域の気候は栽培に適している
- ・実習とは異なる実践の場が設けられ、一貫したサイクルの取組みの中に生徒が活躍する場面が作られているのがよい。全ての生徒が活躍できる取組みを整える必要がある。
- ・中学校でも進路先である本校の取組みについて子どもたちに伝えていきたい。
- ・教科横断的なカリキュラムの編成は大変そうだが教員が楽しみながら考えることができればよい。
- ・取組みを通して子どもたちに様々なことに興味をもってほしい。社会人になって仕事に興味を

持てるような取組みとなることを期待する。

- ・レモンプロジェクトをキャリア教育に位置付けているのが素晴らしい。多様な子どもたちがそれぞれ活躍できる場を作り、地域のムーブメントと連動した。何年か後には地域の子どもたちがレモンを通じて働く場ができる、地域が活性化される中心に泉北高等支援があればよい。
- ・開かれた学校。様々な機関、地域の方と連携とっているのがよい。
- ・販売実習はみなみかぜだけでなく、原山の地域会館での販売もよければしてほしい。
- ・今後も原山台元気まつり、原山まつりへの出展や出演等を通じて地域連携を図ることができたらよい。

人権教育について

- ・生徒が加害者にも被害者にもならないための研修や取組みを、上神谷支援学校にも共有してほしい。
- ・SNS の利用方法について良し悪しの線引きが難しい部分がある。その部分を子どもたちとの話し合いによってルールなどの取組みを行っている。なぜグレーで線引きが難しいのかなども子どもたちと話し合い、研修することができたらよい。
- ・事案に関する研修の内容について、性に関するだけでなく、対人関係、暴力につながる研修なのでよいと感じた。

働き方改革について

- ・教職員の心身の健康増進プログラムが教員たち発信で企画されているのがよい。上神谷支援学校でも取り入れていけたらと考える。
- ・時間外での電話対応などもあると思うが、少しでもゆとりをもって教員が働くことができたらいと感じる。ストレス軽減できるよう、業務を減らすことができたらい。

防災対策について

- ・地域も昨年度より学校の防災研修に参加し、「地区防災計画」を作成中である。地域の福祉避難所としてどう開設、運営していくか課題がある。今年度も学校の防災訓練に地域も参加したい。

(10) 会長まとめ

(11) 今後の学校運営協議会予定について

- ・第2回 10月30日(木)、第3回 1月29日(木)を予定。
- ・時間は 13:30~15:00